

2026年度 久留米大学前期一般選抜『出題の意図』
医学部医学科

日 程	2 月 13 日	科目名	小論文	問題番号	
「信頼はどのようにして生まれるか」 本問は、医療において極めて重要な「信頼」という概念について、その成立条件を自ら考察する力を問うことを意図している。医師と患者の関係では、患者が自身の身体や生命に関わる重要な判断を医師に委ねることがあり、知識や技術だけでなく、医師に対する信頼が医療の基盤となる。一方で、信頼は単に「相手に優しくすること」や「約束を守ること」だけから生まれるものではなく、誠実さ、専門性、責任感、相手の話を聴く姿勢、情報を適切に伝えること、相手の立場を尊重することなど、さまざまな要素によって形成される。また、信頼は一度得れば永続するものではなく、日々の行動によって築かれ、場合によっては容易に失われるものでもある。 本問では、受験生が信頼を抽象的な美徳として捉えるのではなく、人と人との関係の中でどのように形成されるのかを具体的・多面的に考えられるかを評価する。さらに、自分が医師になった場合に患者や周囲の人から信頼されるためには何が必要かという、自己のあり方への省察も期待している。					